

自立スタンド（ピボット機能付き） 取扱説明書

本書では、自立スタンド（ピボット機能付き）の組み立て方法や使用時の注意、自立スタンドに取り付けて使用する機器（コンピューターや液晶ディスプレイ）の制限事項などを記載しています。

自立スタンドは、使用時の注意や制限事項を十分に理解し、お客様の責任において使用してください。

本書をお読みにになったあとは、すぐに取り出して見られる場所に保管してください。

梱包品を確認する	p.2
安全にお使いいただくために	p.3
自立スタンドを組み立てる	p.4
自立スタンドの機能を使う	p.15
機能仕様一覧	p.18

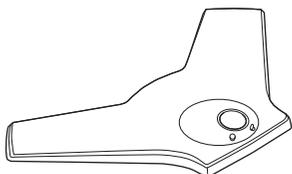
本書に記載しているディスプレイやコンピューター、ACアダプターの形状は一例であり、お使いの製品と異なる場合があります。

EPSON

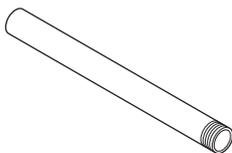
梱包品を確認する

はじめに梱包品がそろっているか確認します。万一、梱包品の不足や仕様違いがありましたら、商品お届け後 8 日以内に受付窓口までご連絡ください。

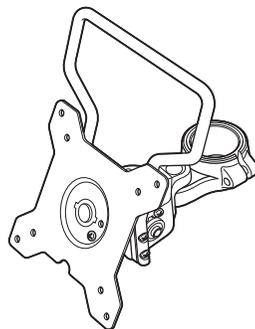
詳しくは、[別紙](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。



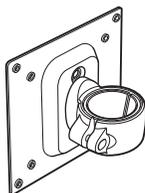
台座



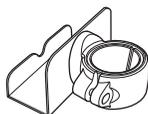
支柱



ディスプレイホルダー
(ハンドル含)



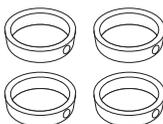
コンピューターホルダー



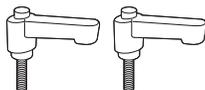
AC アダプターホルダー



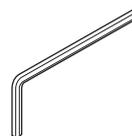
AC アダプターホルダー
固定ネジ：1 本



ストッパーリング：4 個



クランプ固定レバー：2 個



L 型六角レンチ



ディスプレイ固定ネジ：
4 本



六角穴ネジ：6 個
(台座固定用：2 個)
(ストッパーリング固定用：4 個)

AC アダプターホルダー用
ラバー：2 枚

取扱説明書 (本書)

安全にお使いいただくために

自立スタンドは、対応した機器を取り付けて使用してください。

自立スタンドに対応した機器は、下記 URL をご覧ください。

<http://faq.epsondirect.co.jp/faq/edc/app/servlet/qadoc?28020>



自立スタンドに対応していない機器を取り付けた場合、バランスを崩し、転倒して、けがや機器の破損、故障の原因となります。

作業時の注意

自立スタンドの組み立てを行う前に、必ず次の注意事項を確認してください。



- 不安定な場所（ぐらついた机の上や傾いた所など）で、作業をしないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
- 部品の取り付けやネジの固定は正しく確実に行ってください。取り付けや固定が正しく行われていないと、部品が落下したり、スタンドが転倒して、けがや機器の破損、故障の原因となります。

使用上の注意

自立スタンドに対応した機器を取り付けて使用する際には、次のような注意事項があります。使用前に必ず確認してください。



- 本スタンドに機器を取り付け後、クランプ固定レバーは、高さ調整時を除き、決して緩めないでください。固定レバーが緩んでいると、スタンドに取り付けた機器が規定の角度以上に回転してしまい、バランスを崩し、転倒して、けがや機器の破損、故障の原因となります。
- ピボット機能（90°回転）を使用する際、指などを挟みこまないように、手の位置に注意してください。



高さ調整や画面の角度変更など、スタンドの機能を使用するときは、スタンドに取り付けた機器の電源を必ず切り、本書の手順に従ってください。

自立スタンドを組み立てる

自立スタンドの組み立て作業について説明します。作業の流れは次のとおりです。

1. 台座に支柱を取り付ける p.4

台座に支柱を取り付けます。



2. ディスプレイのネックを取り外す p.6

ディスプレイにネックが付いている場合は取り外します。



3. ディスプレイをホルダーに取り付ける p.7

ディスプレイをホルダーに取り付け、支柱に装着できる状態にします。



4. 支柱に機器を仮留めする p.8

AC アダプターホルダー、コンピューター、ディスプレイを支柱に仮留めします。



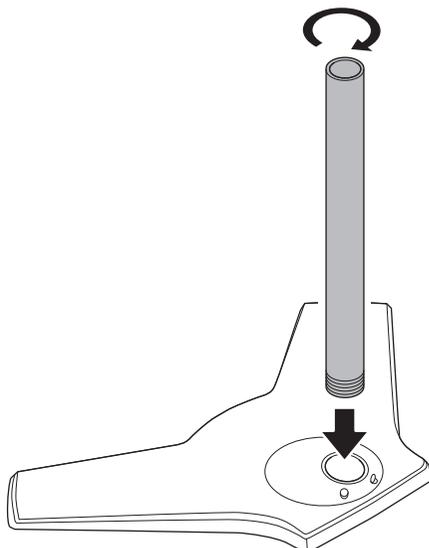
5. 機器の位置を調整して固定する p.12

仮留めした機器の位置を調整して固定します。

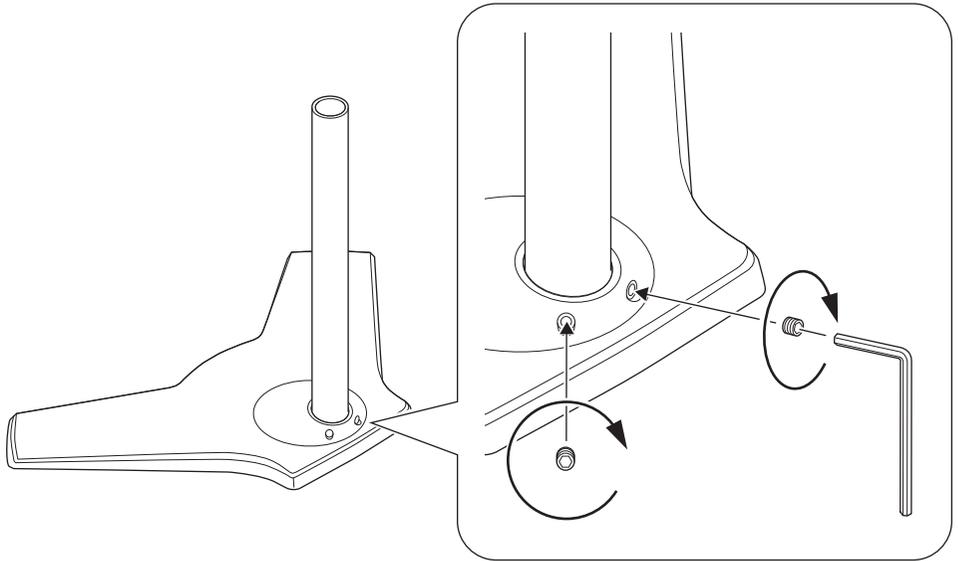
1 台座に支柱を取り付ける

台座に支柱を取り付ける手順は次のとおりです。

- 1** 支柱のネジ側を台座の穴に入れ、矢印の方向に回して締め込みます。
しっかりと奥まで締め込んでください。



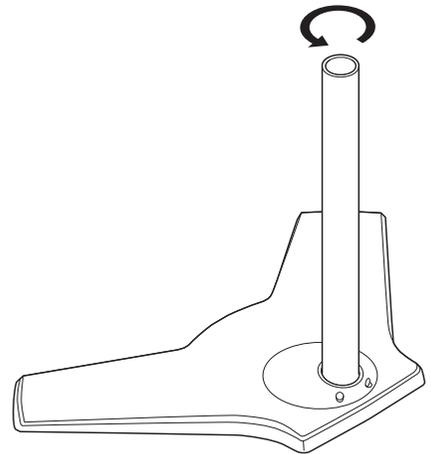
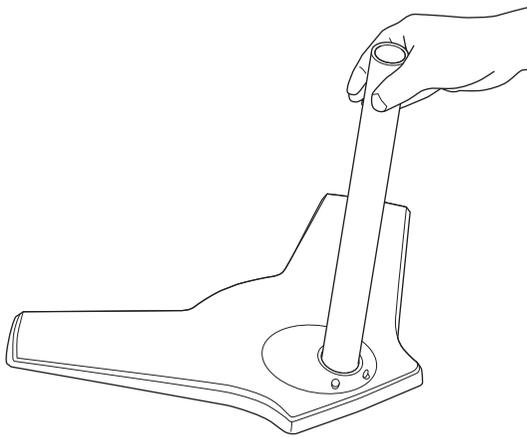
- 2** 台座背面の穴（2箇所）に六角穴ネジ（2個）をはめこみ、L型六角レンチで締めて固定します。



固定したら、次の点を確認してください。

・支柱を持ち上げて外れないこと

・支柱が矢印の方向に回らないこと



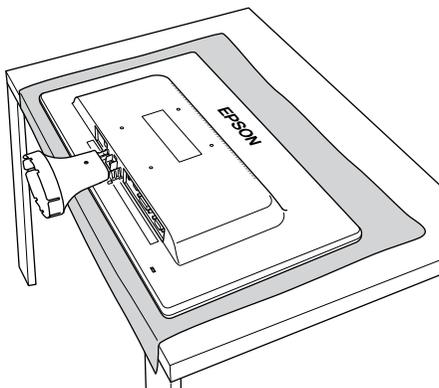
台座が動いたり、支柱が回ったりした場合は、**1** と **2** を再度行ってください。

2

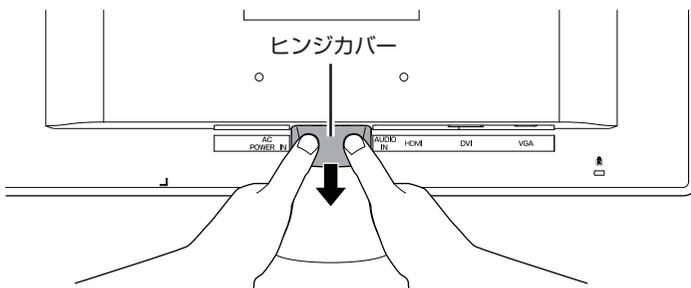
ディスプレイのネックを取り外す

ディスプレイにネックが付いている場合は取り外します。
液晶画面が傷つくのを防ぐため、作業の前に台の上にやわらかい布を敷いておいてください。
取り外し方法は次のとおりです。

- 1 ディ스플레이の背面を上にして置きます。

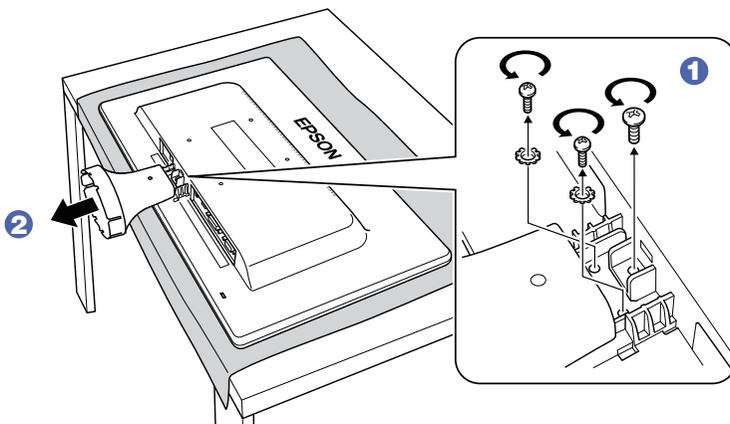


- 2 ディ스플레이背面のネック部分を図のように持ち、ヒンジカバーに親指を当てて、矢印の方向に親指を下げ、ヒンジカバーを取り外します。



- 3 ネックを取り外します。

- 1 ヒンジ部のネジ（3個）を取り外します。
- 2 ディ스플레이部分が動かないように押さえ、ネックを矢印の方向に引いて取り外します。

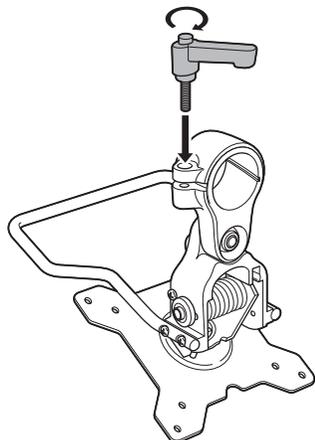


これでネックの取り外しは完了です。
取り外した部品は、大切に保管してください。

3 ディ스플레이をホルダーに取り付ける

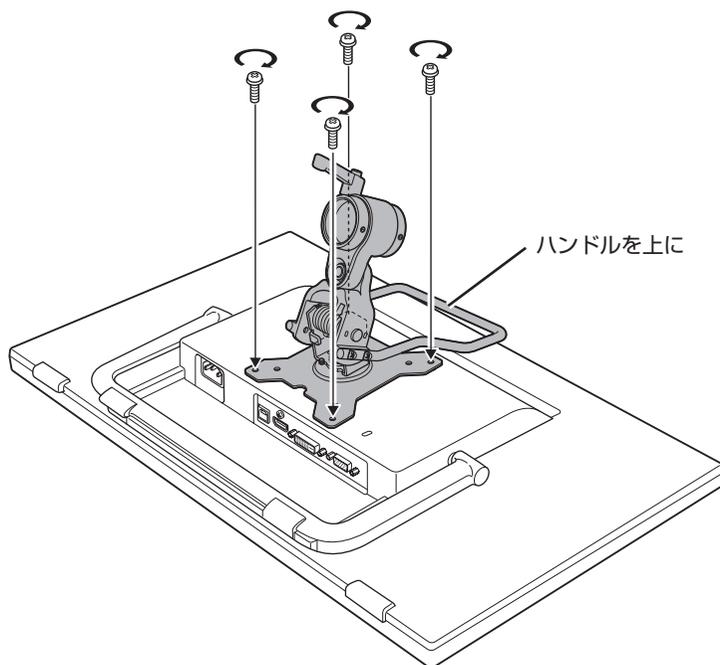
ディスプレイをホルダーに取り付け、支柱に装着できる状態にします。
液晶画面が傷つくのを防ぐため、作業の前に台の上にやわらかい布を敷いておいてください。

- 1 ディ스플레이ホルダーにクランプ固定レバーを取り付けます。



- 2 ディ스플레이の背面を上にして置き、ディスプレイホルダーを取り付けます。

ディスプレイ背面の穴にディスプレイホルダーを合わせ、ディスプレイ固定ネジ（4本）で固定します。



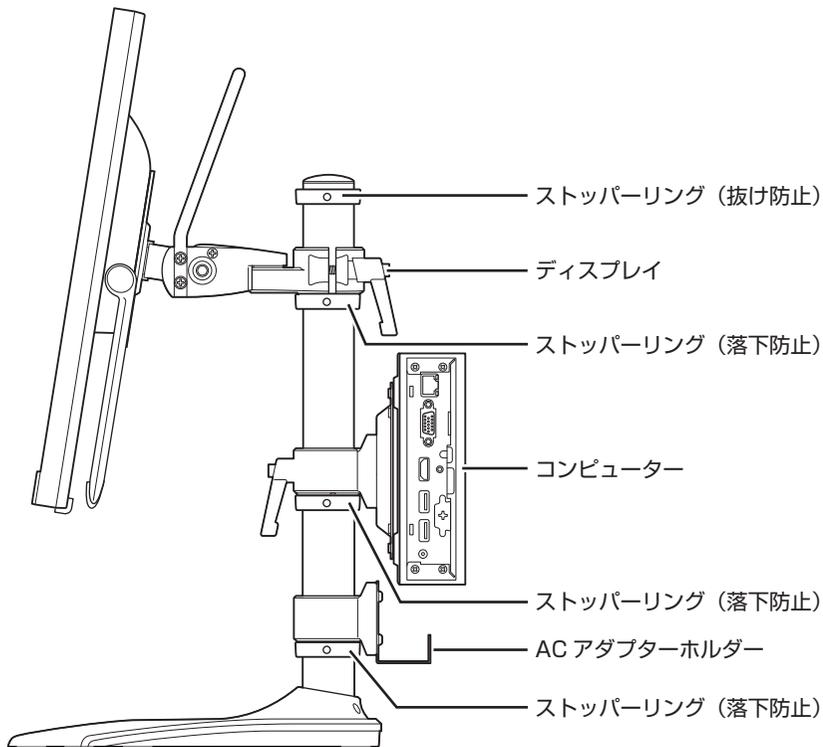
4

支柱に機器を仮留めする

AC アダプターホルダー、コンピューター、ディスプレイを支柱に仮留めします。

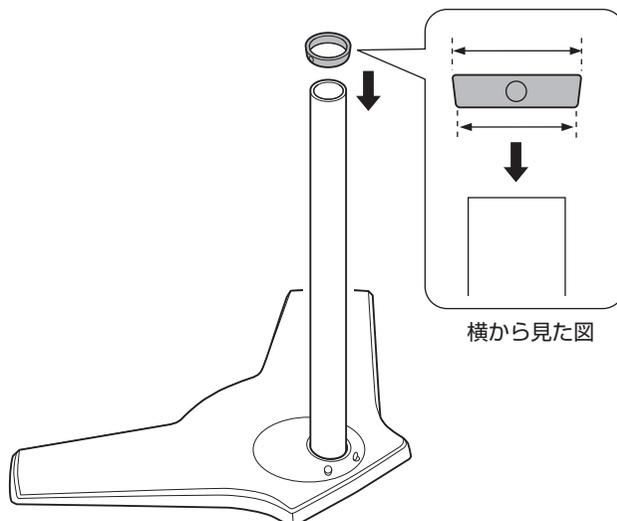
※ このあと  p.12 「5. 機器の位置を調整して固定する」でしっかり固定します。

ここでは例として次の順番で取り付ける方法を説明します。



1 ストッパーリングを支柱に差し込みます。

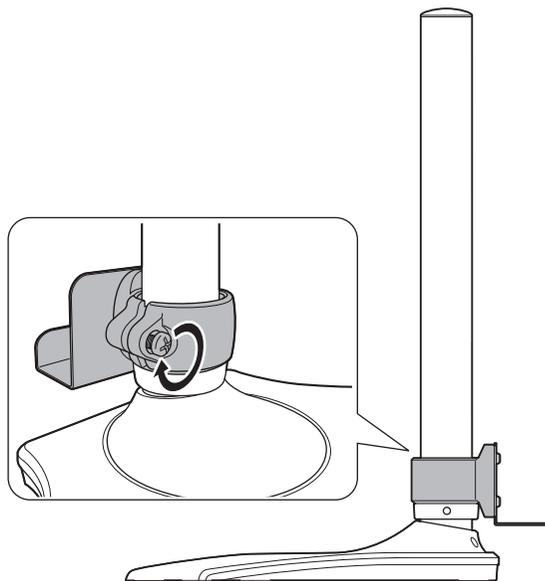
細い方を下側にして差し込んでください。



2 ACアダプターホルダーを仮留めします。

支柱に AC アダプターホルダーのクランプ部を差し込み、AC アダプターホルダー固定ネジ (1 本) で仮留めします。

※ AC アダプターホルダーは、自立スタンドの前側 / 後側どちらにも取り付けできます。



3 1 と同様の手順でストッパーリングを差し込みます。

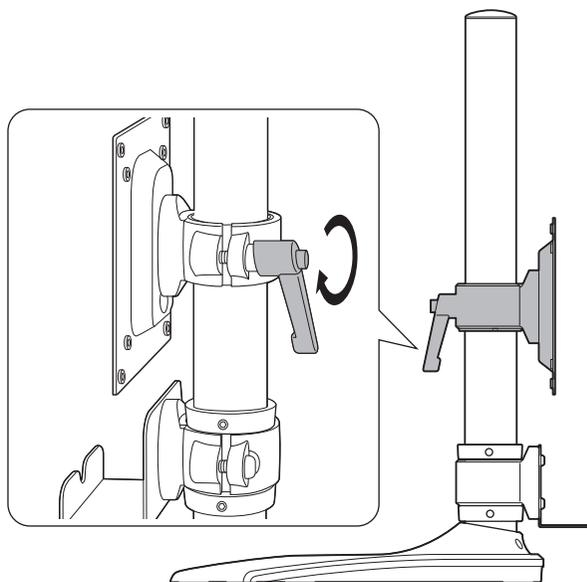
4 コンピューターホルダーを仮留めします。

支柱にコンピューターホルダーのクランプ部を差し込み、クランプ固定レバーを取り付けて仮留めします。

※コンピューターホルダーが落下しないように、レバーを締めてください。

固定レバーが回しにくい位置にあるときは、レバーを引っ張って位置を変えてください。

※コンピューターホルダーは、自立スタンドの前側 / 後側どちらにも取り付けできます。



5 **1** と同様の手順でストッパーリングを差し込みます。

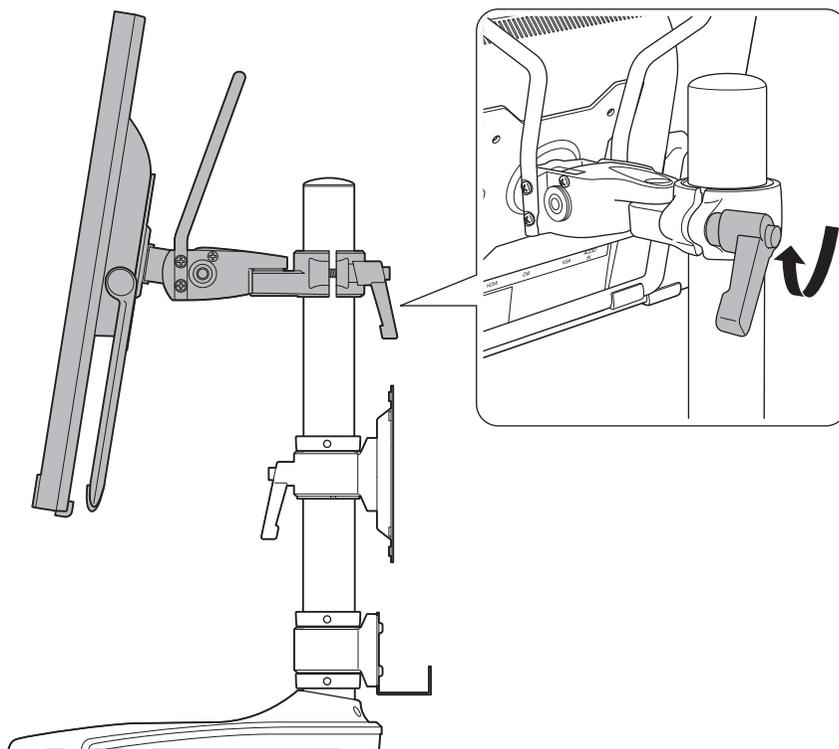
6 ディスプレイを仮留めします。

ディスプレイをしっかり持って、クランプ部を支柱にゆっくりと差し込み、固定レバーを締めます。

※ ディスプレイが落下しないように、レバーを締めてください。

固定レバーが回しにくい位置にあるときは、レバーを引っ張って位置を変えてください。

※ ディスプレイは必ず自立スタンドの前側に取り付けてください。



7 ① と同様の手順でストッパーリングを差し込みます。

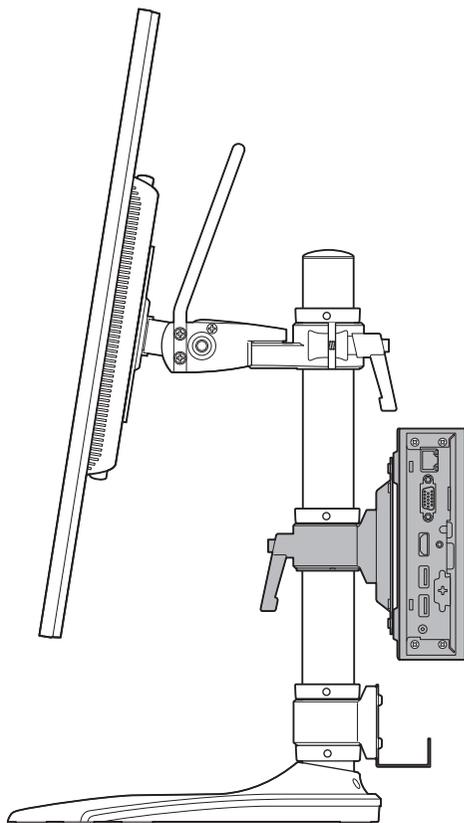
8 コンピューターを取り付けます。

① コンピューターホルダーにブラケットを取り付けます。

取り付け方は [別紙](#) 『自立スタンドに取り付けるときは』 をご覧ください。

② ブラケットにコンピューターを取り付けます。

取り付け方は [別紙](#) 『自立スタンドに取り付けるときは』 をご覧ください。



5

機器の位置を調整して固定する

仮留めした機器の位置を調整して、しっかりと固定します。

必要に応じて AC アダプターをホルダーにセットし、機器にケーブル類を接続してから、位置を調整してください。

ケーブルの接続方法は、各機器のマニュアルをご覧ください。

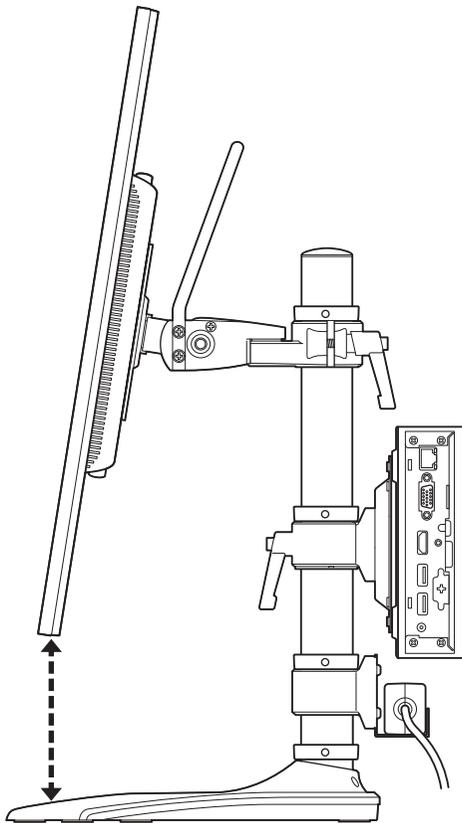
1 機器（AC アダプター、コンピューター、ディスプレイ）の高さと向きを決め、固定レバーまたはネジをしっかりと締めて固定します。

※ 機器の位置を調整するときは、機器をしっかり持ち、支柱から落下しないように注意してください。

※ 固定レバーが回しにくい位置にあるときは、レバーを引っ張って位置を変えてください。

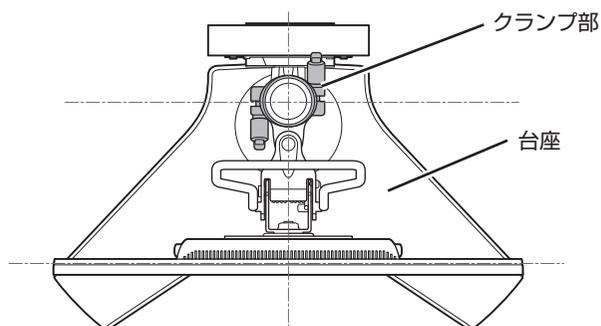
高さ

ディスプレイのピボット機能を使用する場合は、回転させたときにディスプレイが台座に当たらない高さに固定してください。



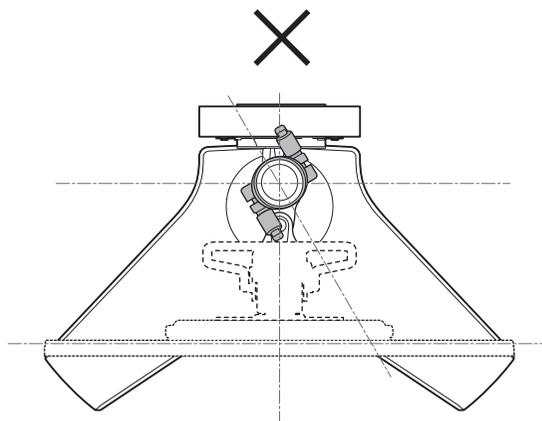
向き

ディスプレイは、クランプ部と台座の向きを図のようにして固定してください。向きがずれていると、ディスプレイが規定の角度以上に左右に回転してしまい、バランスを崩し、転倒して、けがや機器の破損、故障の原因となります。

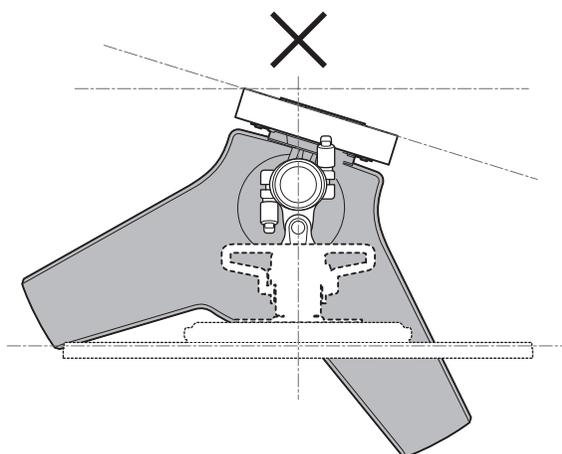


クランプ部や台座の向きがずれて、斜めになっている場合は直してください。

- クランプ部が斜めになっている

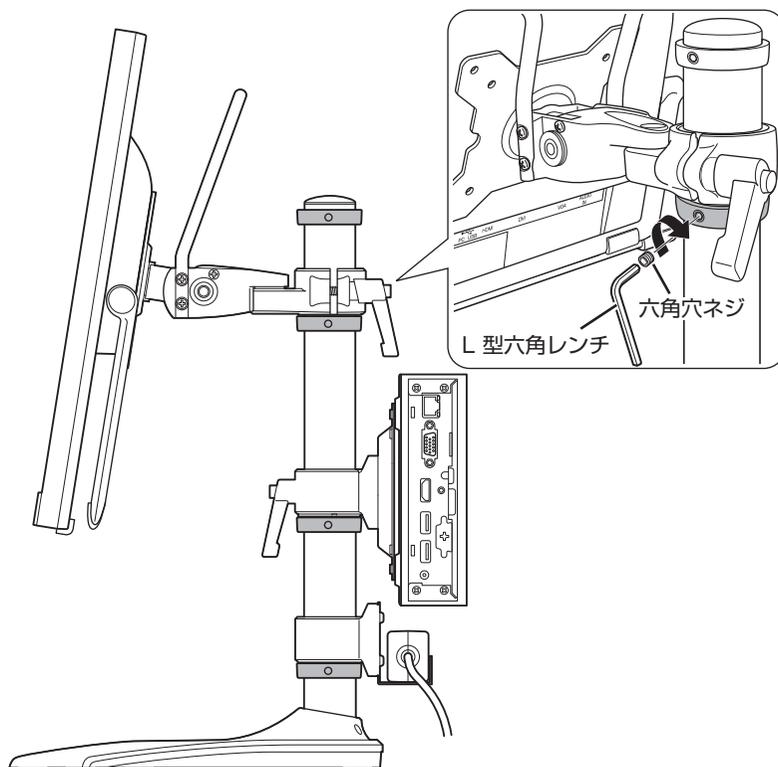


- 台座が斜めになっている



2 機器のクランプ部の真下にストッパーリングを移動させ、六角穴ネジでしっかり締めて固定します。

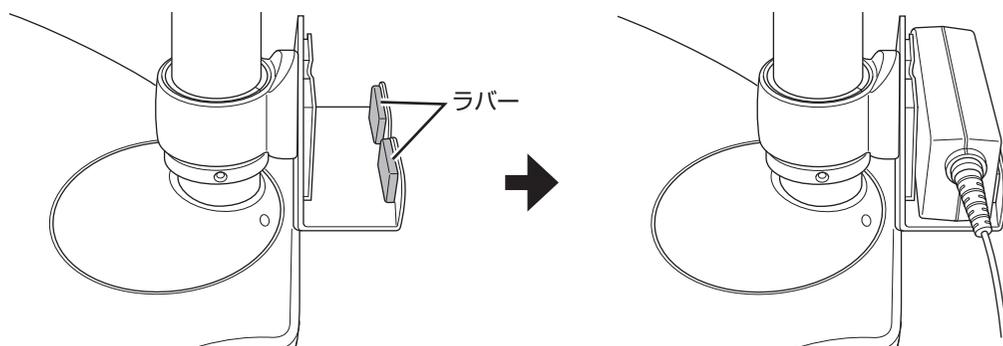
- ※ ストッパーリングのネジ穴は、スタンドの横側にくるようにしてください。
- ※ 機器の落下防止のため、ストッパーリングは確実に固定してください。
機器が落下すると、けがや機器の破損、故障の原因となります。
- ※ 一番上のストッパーリングは抜け防止用です。支柱の上部に固定してください。



これで組み立ては完了です。

AC アダプターホルダーにラバーを貼り付ける

ホルダーに AC アダプターをセットした際、すき間が空いてしまう場合は、AC アダプターホルダー用ラバー（2 枚）を貼り付けてください。



移動するときは

自立スタンドを移動するときは、ハンドルと台座を持ち、水平に移動してください。

自立スタンドの機能を使う

自立スタンドには、次の機能があります。

- ピボット機能（90°回転）
- 画面の上下角度（チルト）調整
- 画面の左右角度（スイーベル）調整



注意

- 固定レバーは、必要な場合を除き、決して緩めないでください。固定レバーが緩んでいると、機器が規定の角度以上に回転してしまい、バランスを崩し、転倒して、けがや機器の破損、故障の原因となります。
- 画面の角度を調整する場合は、必ず機器の電源を切った状態で行ってください。また、可動部にケーブル類が挟まらないように注意してください。

ピボット機能（90°回転）

ピボット機能を使うと、ディスプレイの表示向きを90°回転できます。

※ピボット機能を使用する場合は、回転させたときにディスプレイが台座に当たらない高さに固定してください。

 p.12 「高さ」



注意

- 回転する前に、あらかじめケーブル類やデバイス類は取り外してください。
- 回転時は、指などを挟みこまないように、手の位置に注意してください。



制限

ピボット機能使用時、ケーブルが届かなくなる場合があります。必要に応じて長いケーブルに交換してください。

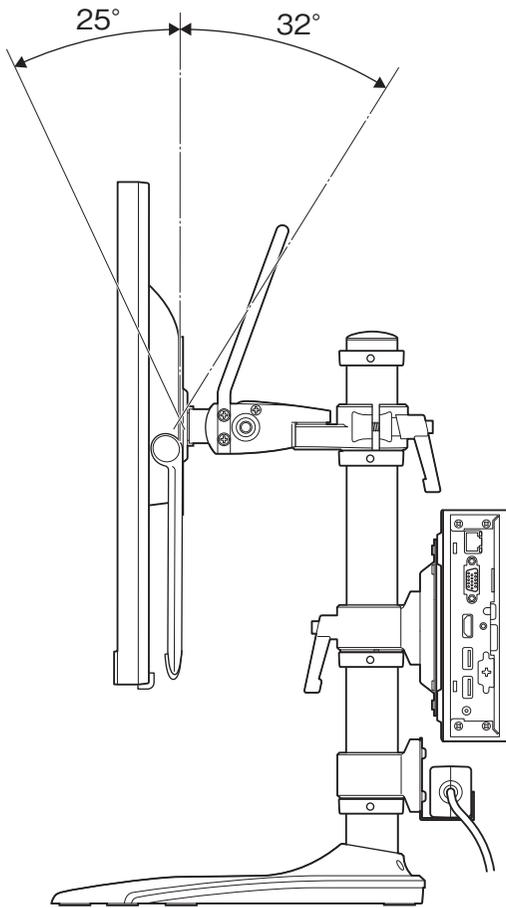
画面表示を回転させる

画面表示を回転させる方法は次の場所をご覧ください。

<http://faq.epsondirect.co.jp/faq/edc/app/servlet/qadoc?15245>

画面の上下角度（チルト）調整

上に 32°、下に 25° の範囲で画面の角度を調整することができます。



画面の左右角度（スイーベル）調整

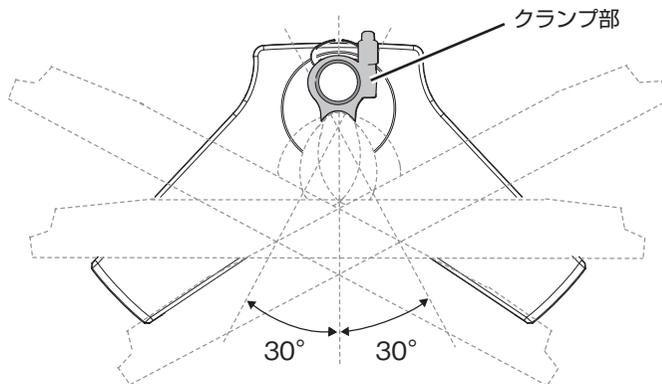


画面の左右角度調整をする場合は、クランプ部が動かない（固定レバーがしっかりと締まっている）ことを確認してください。

固定レバーが緩んだ状態のクランプ部は、360°動きます。固定レバーが緩んでいると、機器が規定の角度以上に左右に回転してしまい、バランスを崩し、転倒して、けがや機器の破損、故障の原因となります。

左右に各 30° の範囲で画面の角度を調整することができます。

画面の左右を持ち、左右どちらか一方方向にゆっくりと動かし、クランプ部が動かない（固定レバーがしっかりと締まっている）ことを確認してください。



機能仕様一覧

名称	自立スタンド（ピボット機能付き）
型番	GEEPM-01
本体寸法（幅×奥行き×高さ）	約 422.6mm × 276.4mm × 470.6mm（最大高さ）
質量	約 2.5kg
ピボット機能	90°
チルト角	上 32°、下 25°
スィーベル角	左 30°、右 30°

MEMO

エプソンダイレクト ユーザーサポートページ

www.epsondirect.co.jp/support/

